

市民大学事業の他自治体との比較

【資料3-2】

【A型】=大学活用型(大学の知的資源を活用し、市民向けに再構築し提供)
 【B型】=個人の知識提供に留まらず、社会や地域の課題解決に向けた取り組みを志向)

自治体名	町田市	八王子市	相模原市①・座間	相模原市②	横須賀市	千代田区	川崎市	日野市	武蔵野市	品川区	渋谷区
名称	まちだ市民大学HATS	八王子学園都市大学「いちよう塾」	市民大学	さがみはら地域づくり大学	横須賀市市民大学	ちよだ生涯学習カレッジ	かわさき市民アカデミー	ひの市民大学	武蔵野地域自由大学	しながわ学びの杜	シブヤ大学
概要	「あなたを励まし、地域を育てる」を基本理念として、市民が主体的かつ継続的に学習することを通じて、まちづくりに欠くことのできない市民力の創出を目的として実施。	「誰もがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち」を実現するため、市内25の大学等との共働により市民が意欲を持って学ぶ機会を提供する。	市民の継続的で系統的な学習の場として、市内13の大学等の協力を得て開設。当初は大学毎にそれぞれ共催していたが市民大学として一本化。2022年から高齢者向け大学の「あじさい大学」を市民大学の1コースに再編成し提供している。	市民大学とは別に、市民が協働の観点で地域活動や市民活動を促進するために役立つ知識や技術を体系的に学べる場として、首長部局市民協働部門が開設。	市民に多様な学習機会を提供するため設置。生きがいつくりを目的にした一般コースと学習成果の地域還元を目指す研究コースに分かれ、一般コースは「課題対応」「地域学」「教養」「ビジネス支援」の4つに区分される。	生涯学習を地域活動につなげる実践的な力を培う場として2016年開講。グループワークなど体験的な授業が特色で、自主活動も盛んに行われている。1年制で「地域デザインコース」「学びと地域のコーディネーター養成コース」などを開催。	市民の生涯学習と社会参加意欲に応えるため開学。市民による運営を目指し、社会科学、人文科学、自然科学などの講座のほか、地域に密着した川崎学、市民の地域への連携や社会還元を促す地域協働講座がある。	「いつでも、どこでも、だれでもが学べる」を基本方針に2004年から運営。市民が企画し、市民目線での「学び」を提供する事業と、市内の大学と連携し、大学の授業を市民に届ける事業がある。	武蔵野市内の5大学が連携し、高度で継続的、体系的な生涯学習の場を提供。それぞれの大学に通って学生と一緒に授業を受けられるほか5大学協働講座など市民向けの講座も開設。	区の生涯学習事業を16歳以上が受講可能なオープンカレッジと60歳以上を対象とするシルバー大学の2系統に体系化。	「学びはもっとゆるくていい」「まじめなことも話したい」「同じ空間で誰かとともに学びあう」「みんなで作る」「誰もが無料で参加できる」「まちじゅうが学びの場になる」をコンセプトにした市民が立ち上げた大学事業。
類型	B型	A型	A型	B型	A型・B型	B型	B型	A型B型	A型	A型	A型B型
運営形態	直営(生涯学習センター)	運営委託(学園都市文化ふれあい財団)	運営委託(相模原・町田大学地域コンソーシアム)	指定管理(相模原・町田大学地域コンソーシアム)	指定管理(横須賀市生涯学習財団)	指定管理(ちよだすぼすたみらい)	事業委託(NPOかわさき市民アカデミー)	直営(日野市中央公民館)	指定管理(武蔵野文化生涯学習事業団)	直営(文化振興課)	自主運営(NPO法人シブヤ大学)
運営方法	生涯学習センターによる直営。生涯学習センター運営協議会が事業全体を確認し、各プログラムは学識者及び講座修了者で構成されるプログラム委員の助言を受け、市が作成する。	①八王子学園都市大学評議会(学長、市民、商工関係団体、学園都市推進会議、大学コンソーシアム八王子、市職員、財団職員)②八王子学園都市大学運営委員会(コンソーシアム加盟大学実務担当者、市職員、財団職員)③事務局(財団・市)からなり、①が統括し、②が企画立案し、③が運営。	事業計画は市が行い、計画に基づく実施部分をコンソーシアムが受け持つ。	ユニコムプラザ相模原の指定管理者である相模原・町田大学地域コンソーシアムがユニコムプラザの指定事業として実施している。協働について学ぶ「地域活動コース」、相模原について学ぶ「短縮版コース」、特定分野の知識、ノウハウ、実践例を学ぶ「専門講座」がある。	横須賀市生涯学習財団が横須賀市生涯学習センターを指定管理者として受託しており、市民大学はその主催事業として実施。	九段生涯学習館指定管理者の「ちよだすぼすたみらい」(小学館、ミズノ等のJV)が事務局として運営。千代田区生涯学習推進委員会議長(学識)が学長として全体を統括。	川崎市生涯学習プラザを運営する川崎市生涯学習財団の事業をNPO法人かわさき市民アカデミーが受託し、運営。	日野市中央公民館による直営	武蔵野プレイス(武蔵野文化生涯学習事業団)内に事務局を設置。	区の生涯学習事業を「学びの杜」に一本化し、文化振興課が所管。オープンカレッジでは、市内の大学等と連携し講座を提供。品川を学ぶ「しながわ学」、品川で活躍するための「しながわ塾」、「知的障害がある方向けのチャレンジ塾」などのコースがある。シルバー大学は3年間のコース制で体系的な学びを提供。	NPO法人による自主的運営。行政との連携や一部事業の受託も行っている。
プログラム作成	市民ニーズに対応するものであることを基本として、プログラム委員と生涯学習センター職員が検討し策定。	大学コンソーシアム八王子加盟25校大学等、公益財団法人セミナーハウス、東京医科大学に年2回科目提供依頼を行い、提供講座を基に策定。	市が大学等に依頼し、提供講座を基に策定。	企画運営はコンソーシアムが実施。講座修了者には「コーディネーターズサークル」に登録可能、交流会や情報提供、活動の場の提供を行っている。	指定管理者職員と講師がニーズに基づき話し合い、策定する	コース毎に学識経験者がコース長を務め、プログラムをコーディネート。修了生は企画運営委員会へ企画案の提出が可能。	NPO法人かわさき市民アカデミーが企画運営。同法人は川崎市民アカデミー受講者によって構成される団体。	市民企画講座は、公募委員が企画立案を行い、公民館が会場提供などを行う。大学講座は大学からの提案を元に調整。	5大学の提案、連携による。正規カリキュラムについては事務局でシラバス(授業計画)を閲覧可能。	行政の企画による講座のほか大学等からの提案による講座あり。	NPO法人とボランティアスタッフで協議し決定。
特徴	●プログラム委員制度。	●大学等の教育機関が多く立地する八王子市の特性を活かした「A型」の典型例。 ●評議会に商工関係団体代表が加わっている。	●2市の共同実施。 ●実施部分のみを委託。 ●高齢者大学の統合	●地域づくりに特化。 ●活動を促進する講座を体系化し提供。	●A型・B型併存 ●「生きがいつくり」と「地域還元」の2コース制。	●修了生による企画提案制度。	●修了生団体による企画運営。	●A型・B型併存。	●大学主導。 ●大学の正規カリキュラムの一部を市民大学に提供。	●生涯学習事業の体系化、一本化。 ●一般向けと高齢者向けの2コース制。	●市民主導(市民による自主運営)